

サザエさん一家

施設慰問：1月31日上村座

ボランティアは楽しい！SNKが誇る「くるめんサザエさん一家」サークル「昔話を語る会」のメンバー12人で構成しています。



↑波平(高木)、フネ(平岡)、サザエ(丸山)さんによるマジック

「くるめんサザエさん一家」のボランティアサザエさん一家の活動は約5年になります。市内の老人ホームや介護施設への慰問、大学や町内のイベントへ参加と、いろいろなところで活動しています。

コント・歌や踊り・健康体操・手品・昔話など、演し物は多種多彩で、とにかく見ていただく方々に笑顔と笑いを提供しています。

これまでの活動で、今やSNKの「くるめんサザエさん一家」と言えば、知る人ぞ知る存在となってきました。それは評判を聞きつけた施設などから、出演依頼が次々に舞い込んでいます。

SNKの「奉仕されるより奉仕する」をモットーとしてこれからも活動を続けたいと思っています。高齢化社会を反映してニーズは高まるばかりです。

関心のある方は参加下さい、歓迎します。
交流部長 平岡清志



(あとがき)ソチオリンピックはヤングゼネレーションの活躍に沸いた。新しい力は世代交代が確実に迫っていることを教えてくれた。だが、男子ジャンプを率いた葛西選手の活躍も大きな話題だった。あっけらかんと明るいヤングの天性の技と力、老練にして高度な技と力、に乾杯。(武)

農縁倶楽部からお知らせ

高塚農園では「じゃが芋のオーナさん」を募集しました。22口(2月21日現在)のジャガイモ畑、植え付け終わる。

農園代表 島井新一郎



編集・発行
NPO シニアネット久留米
理事長 小島紀夫
久留米市荘島町 13-1
TEL 0942-46-2277

元気もん、は考える

あーちゃんは7歳、この世の仕組みを未だよく知らない。幼稚園、そして小学校で学ぶようになり、どんどん背丈が伸びた。その成長に合わせるように、身近のことを理解した。大好きなパパとママ、食卓で使う自分の椅子、茶碗、ママの作る料理がとても美味しい等々。世の中はどんな仕組みとなっているか、未だよく理解していないが知識は増えてきた。毎朝、学校へ歩いて通う、冬の寒い朝も夜更かしが過ぎた眠たい朝でも、学校は休まずに行かねばならない、ということを知っている。

「何故、学校に行くのか？何故、マンションに住んでいるのか？」、小学校へ行く道すがら仲良しの友だちと話し合ったりして理解した。だが新しい疑問は増えて、現在も何故を重ねている。考えるあーちゃんは、解らないことを知りたいと思う。解らないを繰り返して、知りたい階段を上げる。気付くと、いろいろ知りたいことは増え、考えていると楽しくて肩のランドセルは少しだけ軽くなる。

子どもは自分を取り巻くいろいろなことに疑問を見つけ、その不思議を解きながら大人に近づく。子どもが育つとは、自分の周囲と住む世界を知る事である。常識の階段を上ることであり、それは、より高い深い良いものを求めているわけではない。子どもが、何故を頻発するのは「どうなっているのか？」知りたいからである。人生を始めたばかりの子どもたちは、素朴に問いかける。「知らないということを知っている」として知られているソクラテスのように。

ソクラテスになり損ねた青年24歳の場合、「佳き人生」を求めて真面目青年を生きて。若者の特権で、人生は希望に満ちているかに見える。だが「如何に人生を生きてべきか」大いに悩みを抱える。では思慮分別を備えた中堅44歳の場合、公私ともに会社人間を生きてその盛衰を担ってきた。だが、働くほどには豊かさを感じない。「世の中はどこか変だ」どうしたら矛盾の無い社会となるか、を考えることがある。考えて答を得るでもなく、仕事の忙しさに最近では働きアリの心境である。

人はシニアとなっても、これまで培ってきた働きアリの習慣は抜けない。年齢を重ねて人生の向こうに見えるのはたくさんの思い出、やりかけの「アート」、そして残された人生である。

シニアの周辺に友の死が囁やかれ不意に哲学することがある、テーマは「死」であり「無」である。

慎ましく生きて、禅坊主を演じる知識は無いが、納得のいく了解をとりたいたい…という希望はある。それが往く道であればもっと理解したいと思う。人生訓やこの世を教える思想や宗教書はたくさんあり、心の赴くままに常識の世界で遊んでみることもある。そんなとき「死」と「無」はシニアの傍らに居座っていることに気付く。シニアにとってエンディングは究極のテーマであり、悩みである。

7歳のあーちゃんは「…ここに居る？」ということ、純粋に知りたいと思っている。周辺にいる優しい大人や社会や自然が「現在…ある」ということを「何故」と言う問いで理解したいと思っている。だから、問いかけは「どうして？」であり、好奇心いっぱいの子どもたちには、自分を取り巻く世界の全てが不思議なのである。

二足歩行により農業を発明したヒト科動物は、季節を巧みに利用して労働に縛られる生活を選んだ。食糧自給が根本にあったものの、食糧備蓄に始まり過剰な穀物がストックされる。飢餓に苦しむ世界があり、穀物は経済という名前で流通される。人は健康と経済と文化を今、生きている。

(編集長 一ノ瀬尚文)

シリーズ 元気もん

今津一躬という人

経歴紹介

SNK: 1998年会設立年に入会
理事長歴: 2009~2011
チッゴアミーゴス奏者
特技: 1・男の料理
2・健康、運動と野菜作り

青春とは「我が信念」を生きることである。好奇心旺盛なシニアは努力する、諦めない。老練を生きたとはいえ、熱い想いは脳葉に溢れんとして未だ止まず。願わくば山郷に住む知恵の精、澄み湧き出でる仙峡の精。SNK 同朋への想いは強く、ネットで豊に遊ばんとする。シニアに大切なことは「人生を楽しむ哲学を持つこと」と喝破した。清濁を合せ呑み、我ら青春を現在も生きる。

1. SNKの運営

思い返せば、私のSNKでの活動の大半は裏方としてであったと思います。運営に携わって来られた皆さんとの協力によって、健全な運営が続いていることを心から喜んでいきます。

- ・初期のSNKでは交流部担当として、新入会員歓迎会のお世話とか、平成12年9月のシニア情報プラザ前夜祭の企画や司会をやりました。そうそう、プラザの内装工事左官の手伝いなどもしました。プラザは市民向けのパソコン講座が主体で、一時講師もやりました。
- ・SNK会員の為の講座や楽しみの拠点が必要として、島井さんが月星の遊休施設を借入しました。物置になっていましたので、片づけから内装、必要備品の確保など全て手作りでやりました。

(H17年9月つきほしふれあいセンターとして改装)
講師・お世話役の分担、組織、収支バランスなど運営の仕組みを手探りで作っていきました。

- ・H15年3月SNKは財政破綻と理事総退陣により解散の危機にありましたが須佐さん他の呼びかけで「新生SNK」がスタートしました。事務局長をと否応なく担当することになり再建にあたりました。SNKのHPに「活動の合言葉」がありますが、この5項目を掲げひたすら実現を目指しました。

- ・財政再建には公的助成金や補助金に頼らず、会費や講座収入など自主財源で運営してきました。不足分を「にこにこステップ運動」(久留米市との協働事業)の取り組み、ハムなど賛助企業会員商品の斡旋販売などで補いました。

- ・こうした運営の基盤が安定することによって、会員の皆さんが色々な活動を立ち上げ楽しまれていることが何より良かったなと思っています。

2. うまかもんば食う会

H12年11月タイラギのワタを食材に呑み助、食い助が集まり「うまかもんば食う会」と名付けました。そして板長に命じられ、ダチョウや鹿の肉など多彩な食材を使い色々な料理を作りました。まあ良く続きましたね。

その秘訣を語れば・・・

- ① 喰い意地が張っていること。
- ② 美味しい料理を食べたとき、その味を再現(盗む?)すること。
- ③ 例えば台湾の中華ちまき、韓国のキムチ、想夫恋の焼きそば、鉄板焼きステーキ店の焼き飯 etc たまに料理番組からヒントを貰うことがある。
- ④ 何より参加者に喜んで貰うことでしょう。集まった呑み助の方々の中からSNKの運営に幾人も参加されましたことを特記します。



協働事業の模範としてその努力に県知事賞受賞、左から小島、今津、中央は県知事、右端金子さん

3. ちっごアミーゴス

H15年3月、高良山の金明竹の間伐材で打楽器を作るお手伝いをしました。ところが楽譜も読めないのにメンバーに誘い込まれ、10年も経ちました。よくぞ続けました。寛容で暖かい仲間のお陰でしょね。竹楽器は径15cm×140cm程で叩きますと何かしら気持ちやす〜となりました。その後ジャンベ(片側だけ皮を張った洋太鼓)を叩いています。これは体に優しく響きます。どこかでリハビリにも使っているそうです。皆さんもどうぞ参加してください。申込は廣津芳信さんへ



文化センターに於けるキッズフェスタ “ちっごアミーゴス” の演奏活動

4. にこにこステップ運動

H19年6月に久留米市長寿支援課と福岡安全センター(株)との協働事業がスタートしてなお継続しています。これは高齢者の健康支援とSNKへの財政に貢献しました。そしてH24年3月にこの事業が福岡県協働事業の模範として県知事表彰を受けました。(写真左)

5. 菜園栽培

H11年8月メンバーの協力で田代農園を開墾し、H24年まで菜園栽培しました。そしてH23年諏訪野町に150坪の土地を開墾し、保坂先生他の新たなメンバーでスタートしました。多品種少量栽培で収穫も先ず先ずで親類や知人に配っています。

自作の野菜は、この15年私や家族の健康の支えとなりました。

6. 登山の勧め

H10年4月久留米山岳会に入会(主な登山歴)

* H23年4月 九州百名山登頂達成

* 日本高山ベスト5登頂、

①富士山②北岳③奥穂高岳④槍ヶ岳⑤間ノ岳

* 日本各拠点ベスト1高山登頂、

北海道: 大雪山、本州: 富士山、中国: 大山、四国: 石槌山、九州: 宮之浦岳(屋久島)

* 旧日本ベスト1高山登頂、

玉山(3,952m)、ハルラ山(1,950m) 韓国済州島

FUKUOKA SAFETY CENTER CO.,LTD
福岡安全センター株式会社

福岡安全センター株式会社

- ・トップページ
- ・スタッフ紹介
- ・利用者の声
- ・コラム

安心・丁寧

信頼のおけるスタッフ
お待ちしております。

〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神
3丁目11-1 天神武藤ビル5F
TEL 092-711-7795

ホームホスピス
「たんがくの家」

TEL: 0942-27-7349

Mail: guest@tangaku.com

FAX: 0942-65-9895

〒830-0052

福岡県久留米市上津町1398-1